



学会誌バックナンバー

2014年10月号 ふぉーかす

放送の「こと」づくり

渡辺 裕 早稲田大学 基幹理工学部 教授

日本学術会議では、電気電子工学分野の参照基準検討分科会によって、「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 電気電子工学分野」を作成しました。この中で、「電気電子工学に固有の特性」として「電気電子工学の役割は、人類が求めるあらゆる夢や必要な“もの”・“こと”に対し、電磁気現象をはじめとするさまざまな物理の原理と数学を活用して、これらを具現化・創出し提供するところである。」と述べられています。



従来の日本産業は「もの」づくりの技術に大変優れていましたが、一方でアプリケーションを利用するためのシステム面である「こと」づくりに関しては、米国に先を越されてきたと言われています。特にデジタル化が進んだ情報技術分野でのアプリケーションには、このことが当てはまるように思います。

1985年くらいからさまざまなアナログコンテンツがデジタル化されてきました。アナログレコードでは針の振動によって音楽が再生されていましたが、デジタル化とともにコンパクトディスクが主流となりました。外出先で音楽を聞くためのツールは、カセットテープレコーダでしたが、MPEGなどのデータ圧縮技術の開発により、メモリーを利用したプレーヤに変わりました。しかし、この時点では「もの」づくりが洗練されただけでした。そこに、ネットワークに繋がったプレーヤが登場し、視聴してダウンロードするといった「こと」づくりタイプのアプリケーションが米国から登場すると、ユーザのほとんどはこのアプリケーションを利用するようになりました。プレーヤはネットワークに繋がってさえすれば良いので、専用の音楽再生装置である必要はなく、スマートフォンがプレーヤとなりました。

画像に関しては、フィルム写真がCCDやCMOSなどの撮像素子とJPEGを基にした画像圧縮プロセッサの発展により、デジタル写真に変わってしまいました。デジタルカメラは日本の有力な産業の一つです。ところが、それらを鑑賞するための写真アルバムは米国のWebアプリケーションがほとんどです。写真に含まれるメタデータと組合せられて、撮影場所、日時、個人情報などとともにBlogのためのコンテンツとなっています。

一方、アナログ時代の映画は、フィルムで供給され、映画館で上映されていましたが、デジタルシネマとなってからは、再生場所・再生時間の自由度が一気に飛躍しました。また、書籍・書類は電子ドキュメントになり、百科事典に代わってWikipediaをWebで見るのが主流となっています。

ところで、テレビジョン放送は電波を受信してブラウン管で視聴するものでしたが、現在ではMPEGデータ圧縮によりデジタル化され、多くは液晶モニタで視聴されています。しかし、放送コンテンツである映像と音声デジタル化されただけでは、旧来の「もの」づくりのレベルに留まっています。オンデマンドで選択できる機能がネットワークを介して与えられたときに「こと」の世界に入っていきます。放送コンテンツを統合されたオーディオビジュアルコンテンツとして捉えるならば、Tag付けされたデジタルコンテンツはクラウドのどこかに存在し、Webアプリケーションの中で視聴、操作される方向に向かうでしょう。将来の映像は、電波とIPネットワークのチャネルの両方を使った自由度の高い接続環境のもとで、ユーザ主導のアプリケーションとして提供されるのだと思います。

▶ このページのTOPへ

学会誌・論文募集

- ▶ [学会誌について](#)
- ▶ [英語論文誌MTAについて](#)
- ▶ [論文の投稿について](#)
- ▶ [知っておきたいキーワード一覧](#)
- ▶ [映像情報メディア年報シリーズ](#)
- ▶ [学会誌バックナンバー](#)
- ▶ [会誌アンケート](#)
- ▶ [会員の声を読む](#)
- ▶ [会誌ニュース欄収録データ](#)
- ▶ [webzine「海外文献集録」](#)
- ▶ [動画コンテンツ一覧](#)

映像情報メディア学会編の新刊図書

CMOSイメージセンサ（映像情報メディア基幹技術シリーズ9）
 映像情報メディア学会 編／コロナ社刊
 （2012年7月発行）相澤清晴・浜本隆之 編著／黒田隆男・中村淳一・高橋秀和・川人祥二・太田 淳 共著／A5判／282頁／定価4,600円（税別）



▶ [書籍一覧はこちら](#)



支部・関連リンク

一般社団法人 映像情報メディア学会

本部 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 403号室
 TEL 03-3432-4677 お問い合わせ

Copyright(C)2012 ITE All Rights Reserved.

著作権 | プライバシーポリシー

サイトマップ | 支部・関連リンク | 学会定款 | 倫理綱領 | 規則